

宇和島さんさの伝承を通しての地域活性化について

1年2組 松浦 梨緒 1年2組 寺岡美紗妃

1年2組 榎本 笑美 1年2組 松井 美穂

指導者 中田 敬子

1 課題設定の理由

「RSI」で課題を決めていくなかで、地域の伝統文化と科学を結び付けて地域の役に立てないかという意見が出た。今まで宇和島の伝統文化についてあまり知る機会がなかったということもあり、自分たちが知らなかった宇和島の伝統文化について調べたいと思い、調査をすることにした。また、最近は様々な社会問題によって伝統文化がなくなりつつある。この問題を解決するために私たちにできることは文化の伝承を行うことだと思った。宇和島の伝統文化について調べ、発表することで文化の伝承にもなり、知名度の数値の変化をグラフ化し、データサイエンスとして研究することにした。宇和島さんさ以外にも和霊大祭等の伝統文化があるが、宇和島さんさの知名度があまり高くないことから宇和島さんさについて調べ、わずかではあるが地域活性化の手助けになるのではないかと考えた。

2 先行研究

「宇和島さんさ」とは南予に伝わる民謡民舞である。平成 25 年には宇和島さんさ伝統普及会が結成され、宇和島さんさの魅力を発信している。岩手県には「さんさ踊り」と「ナニャドヤラ」という盆踊りがある。現在、盆踊りは「ナニャドヤラ」より「さんさ踊り」が主役になっていて、南部藩主が三本柳地区に「さんさ踊り」の保存を奨励したという言い伝えは残っているが、決定的な歴史文書は残っていない。さらに、さんさ踊りを永久に保存するよう授けた巻物も明治 43(1910)年 9 月の北上川の大洪水で流失している。「さんさ踊り」は勇壮でリズムカル、太鼓は両面打ち(例外あり)である。「ナニャドヤラ」は手踊りが美しく、太鼓は片面打ちと、踊りや太鼓のテンポ、派手さは対照的である。「宇和島さんさ」の歌詞には「ションガイナ」という言葉が何回も出てきている。

3 研究の方法

(1) 知名度調査 (アンケート)

宇和島東高校の知名度調査をするために、Microsoft Forms を使って全学年に知名度調査を行う。学年、宇和島市内・市外に住んでいるか、宇和島さんさを知っているか、どこで知ったのかについて質問する。

(2) 先行研究

宇和島さんさ以外にも、東北にもさんさ踊りがあるのを知り、宇和島さんさとの共通点や違いやどうやって伝わってきたのかなどを調べるため、Google scholar の論文やウェブサイトを活用する。

(3) インタビュー

夏休みには、宇和島さんさを楽しむ会の方々実際に会いし、事前に調べたことを踏まえ、インタビューする。宇和島さんさについて実際に踊ったりして宇和島さんさの魅力について知る。市内の博物館等にも足を運び、宇和島さんさについての地域調査も行う。

(4) ポスター作成

宇和島さんさについて知ってもらうために宣伝用ポスターを作成し校内に掲示し、teams にアップする。

(5) 再知名度調査

作成した宣伝用ポスターを teams にもアップして広め、年度末にもう一度知名度が高まって

いるか知名度調査を行う。宣伝用ポスターを掲示前と後で知名度の違いをグラフに表す。

4 結果と考察

2022年7月に知名度調査を実施。夏休みと冬休みに宇和島さんさを楽しむ会に参加し作成した宣伝用ポスター（図1）をteamsにアップした。その後2023年1月に再び知名度調査を実施。知名度調査の変化より、宇和島さんさの知名度は上がったことが分かった。市内では7月は「知っている」「名前だけ耳にしたことはある」と答え、知名度は30%ほどだったが、1月には50%を超えている。市外では7月には「知っている」と答えた人はいなかったが1月には「知っている」「名前だけ耳にしたことはある」と答えた人が30%ほどまで増えている。7月に行った知名度調査でどこで知ったのかという質問では、テレビや地域学習、祖父母から聞いたと答えた人が多かったが1月に行った知名度調査の結果からは課題研究からと答えた人がいた。このことから課題研究を通してわずかではあるが文化の伝承を行うことができたと考えられる。

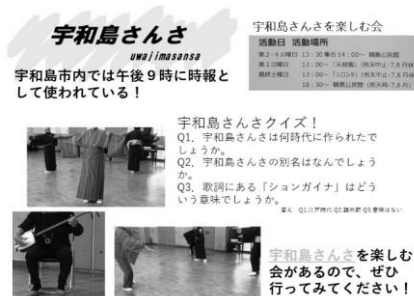


図1 宣伝用ポスター

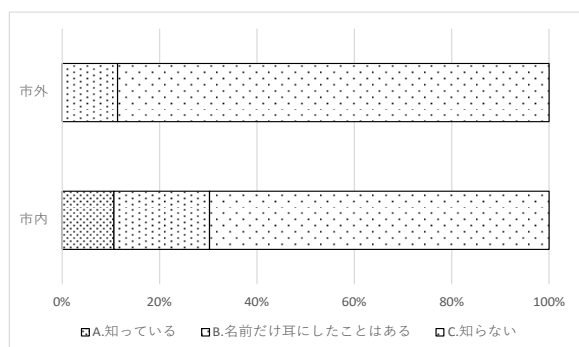


図2 7月に行ったアンケート結果

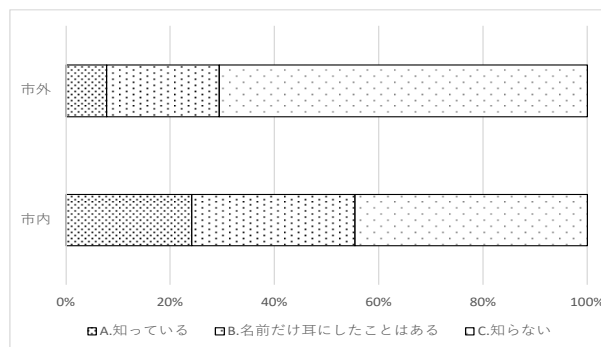


図3 1月に行ったアンケート結果

5 今後の課題とまとめ

知名度調査の結果より、宇和島さんさの知名度が上がったことが分かった。しかし、知名度が上がったとはいえ、特に市外では「知らない」と答えた人が50%を超えている。このことを踏まえて今後はさらに知名度を上げていきたい。市外での知名度を上げるには、宇和島さんさを市内だけで宣伝するのではなく、市外へ広める必要がある。そのためには校内での宣伝だけでなく、自分たちができることをやっていく必要がある。

謝辞

これまで、私たちの研究に携わってくださった先生方をはじめ、宇和島さんさを楽しむ会の方々に感謝申し上げます。

参考文献

- ・2019/11/19, 宇和島さんさと伝統芸能体験事業について, 宇和島市ホームページ <https://www.city.uwajima.ehime.jp/soshiki/33/bunkasinnkou1.html> (参照 2022. 6. 22)
- ・島崎篤子, 「さんさ踊り」とその指導法に関する-考察, 岩手大学教育学部研究年報第60巻第2号 (2001. 2) 77-96 https://iwateu.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=11453&item_no=1&page_id=13&block_id=21 (参照 2022. 6. 22)
- ・2016, 成世昌平宇和島さんさ歌詞, lyric.jp.com <https://j-lyric.net/artist/a0024f1/101bd12.html> (参照 2022. 6. 22)